

平成 30 年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 実 習 理 論

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の曲の伴奏部分として、A～Dにあてはまるものの正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | エ | イ | ウ | オ |
| 2 | エ | ウ | イ | ア |
| 3 | オ | イ | ウ | ア |
| 4 | オ | ウ | エ | イ |
| 5 | オ | エ | ア | イ |

問2 次のA～Eの音楽用語を速度の速い順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

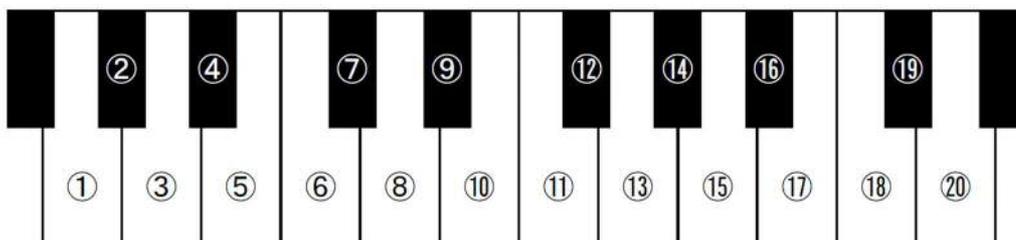
- A Andante
- B Vivace
- C Lento
- D Allegro
- E Moderato

(組み合わせ)

- 1 A→D→B→C→E
- 2 B→C→D→E→A
- 3 B→D→E→A→C
- 4 D→B→E→A→C
- 5 D→E→C→B→A

問3 次のコードネームにあてはまる鍵盤の位置として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

	ア	イ	ウ
C aug :	⑥⑩⑭	⑨⑬⑱	⑨⑫⑱
A <sup>b</sup> :	⑤⑨⑭	⑥⑩⑭	⑥⑨⑭
D <sub>7</sub> :	⑧⑫⑱	⑫⑮⑳	⑧⑪⑱
B dim :	⑤⑧⑫	⑤⑧⑭	⑧⑪⑰

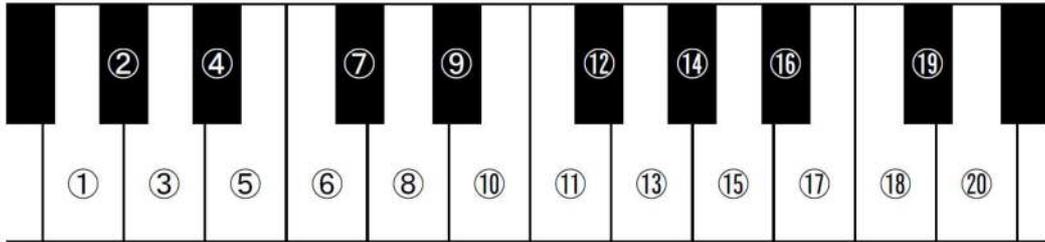


(組み合わせ)

	C aug	A <sup>b</sup>	D <sub>7</sub>	B dim
1	ア	ア	ウ	イ
2	ア	ウ	ア	ウ
3	イ	イ	ア	ウ
4	ウ	イ	ア	イ
5	ウ	ウ	イ	ア

問4 次の曲を4歳児クラスで歌ってみたところ、高い音が歌いにくそうであった。そこで長2度下の調に移調することにした。その場合、A、B、Cの音は、鍵盤の①から⑳のどこを弾くか、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。



(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ⑪ | ⑥ | ⑱ |
| 2 | ⑫ | ⑦ | ⑲ |
| 3 | ⑫ | ⑱ | ⑥ |
| 4 | ⑬ | ⑧ | ⑳ |
| 5 | ⑮ | ⑩ | ⑱ |

問5 次のリズムは、ある曲の歌いはじめの部分である。それは次のうちどれか、一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 「山の音楽家」(日本語詞：水田詩仙 ドイツ民謡)
- 2 「おべんとう」(作詞：天野蝶 作曲：一宮道子)
- 3 「あめふりくまのこ」(作詞：鶴見正夫 作曲：湯山昭)
- 4 「春がきた」(文部省唱歌 作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一)
- 5 「はをみがきましょう」(作詞：則武昭彦 作曲：則武昭彦)

問6 次の文のうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「やぎさんゆうびん」は、團伊玖磨が作曲した。
- B 「森のくまさん」は、アメリカ民謡である。
- C 「♪」の音符の長さを1とすると、「♩」の音符の長さは4分の1である。
- D ト長調の階名「ソ」は、音名「ハ」である。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問7 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」のオ「表現」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

オ 表現

(中略)

(ア) ねらい

- ① 身体の ( A ) の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。
- ② 感じたことや考えたことなどを ( B ) 表現しようとする。
- ③ ( C ) の様々な体験を通して、( D ) や感性が豊かになる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	遊び	自分なりに	生活や遊び	創造性
2	動き	自由に	生活の中	感覚
3	諸感覚	自分なりに	生活や遊び	イメージ
4	動き	自分なりに	遊びの中	創造性
5	諸感覚	自由に	生活の中	イメージ

問8 次の文は、身の回りの様々なものを造形活動の材料として活かすことについての記述である。( A ) ~ ( D ) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

例えば、水は「色水づくり」「( A ) 遊び」「( B ) を作る」などの場面に活用される。太陽や光も、「( C )」や「万華鏡」のように色や形を透かして遊ぶときに大切である。「ひらひらと ( D )」は、風が吹くことで動きや形の変化が出てくる。このように普段は意識していなくても、水・光・風といった身近にあるものを材料として活用することができる。

【語群】

ア 揺れる飾り	イ 浮かぶもの	ウ ステンドグラス	エ 紙飛行機
オ 泥	カ 家	キ 花飾り	ク 走る車
ケ 飛ぶ風船			

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | ク |
| 2 | エ | ウ | オ | ア |
| 3 | エ | カ | キ | ケ |
| 4 | オ | イ | ウ | ア |
| 5 | オ | ク | ア | ケ |

問9 次の【Ⅰ群】の粘土の種類と【Ⅱ群】の粘土の特徴を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 油粘土
- B 小麦粉粘土
- C 土粘土
- D 紙粘土

【Ⅱ群】

- ア 乾燥して硬化しないので、何度でも繰り返すことができる。
- イ 水加減を調整し自在につくることができ、素焼きや陶器作りが可能である。
- ウ 軟らかい感触を楽しめる。誤って口に入れても無害である。
- エ 木やプラスチック等と組み合わせることができ、乾燥後に絵の具で着色できる。
- オ 合成樹脂でできており、オーブンで加熱し硬化させアクリル絵の具で着色することができる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | オ |
| 2 | ア | ウ | イ | エ |
| 3 | イ | ア | オ | ウ |
| 4 | ウ | ア | イ | エ |
| 5 | オ | イ | ア | ウ |

問 10 次の文は、ハサミに関する記述である。( A ) ~ ( E ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ハサミは、子どもの手の大きさや ( A ) に合ったものを選びましょう。体に対して ( B ) に、刃を寝かさないように持ちます。刃先でチョキンと切らず、刃の ( C ) を使ってゆっくり切ると、切りたいところまで切るとめることができます。ハサミではなく ( D ) のほうを動かして、チョキチョキと連続して切り進めます。

ハサミは刃物なので、( E ) を人に向けない、使い終わったら刃を閉じるなど、子どもと約束して使い、安全に配慮しましょう。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	きき手	まっすぐ	つけ根	紙	刃先
2	左手	斜め	つけ根	腕	刃先
3	右手	まっすぐ	真ん中	紙	つけ根
4	きき手	横	真ん中	紙	柄
5	左手	まっすぐ	つけ根	腕	刃先

問 11 次の【Ⅰ群】の子どもの絵に見られる表現の特徴と【Ⅱ群】の名称を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 子どものリアリズムは、大人の写實的、客觀的、感覺的リアリズムと違い、知っているものや経験したことを描こうとするリアリズムである。
- B 幼児期に描く人物画に典型的に見られる表現で、丸から棒線が出ているような形状で万国共通である。
- C テーブルを囲んでいる様子を描くときなどに、人物などが放射状に倒れているかのよう描くことがある。
- D 電車を描いて客席や運転手が透けて見えているかのように描くことがある。

【Ⅱ群】

- ア 透明画（レントゲン画）
- イ 頭足人
- ウ 展開描法
- エ 視覚的リアリズム
- オ スクリブル
- カ 知的リアリズム

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | オ |
| 2 | エ | ウ | イ | カ |
| 3 | エ | オ | ア | イ |
| 4 | カ | イ | ウ | ア |
| 5 | カ | オ | イ | ア |

問 12 次の文は、絵の具を用いた触覚的な造形活動についての記述である。( A ) ～  
( D ) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選  
びなさい。

「( A )」は、机の上や紙の上に垂らした絵の具に手や指で直に触れる遊びである。  
絵の具と水の他に ( B ) を混ぜるなどしておくともヌルヌルと感触を楽しめるようにな  
り、( C ) を遅らせる効果もある。子どもは夢中になると手以外の身体にも塗りたい、  
そのまま「( D )」のようになることもあるので、保育者はそうした展開も十分想定し、  
配慮して活動を計画する必要がある。

【語群】

ア 塗りたい	イ ドロッピング	ウ 混色
エ ボディーペインティング	オ 乾燥	カ フィンガーペインティング
キ 落書き	ク スタンプング	ケ 油
コ ペイントうすめ液	サ 洗濯糊	

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | コ | ウ | ク |
| 2 | イ | ケ | ウ | エ |
| 3 | エ | サ | ウ | キ |
| 4 | カ | コ | オ | ク |
| 5 | カ | サ | オ | エ |

問 13 次の【Ⅰ群】の絵本と【Ⅱ群】の作者を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ  
選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 『もこ もこもこ』
- B 『あおくん と きいろちゃん』
- C 『はじめてのおつかい』
- D 『100まんびきのねこ』
- E 『おじさんのかさ』

【Ⅱ群】

- ア ワンダ・ガアグ (Gág, W.)
- イ 筒井 頼子
- ウ 谷川 俊太郎
- エ レオ・レオーニ (Lionni, L.)
- オ 佐野 洋子

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| 2 | ウ | エ | イ | ア | オ |
| 3 | ウ | エ | イ | オ | ア |
| 4 | エ | オ | イ | ウ | ア |
| 5 | エ | オ | ウ | ア | イ |

問 14 次の文は、「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」の 2 「1 歳以上 3 歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」のエ「言葉」のねらいである。( A )～( D )にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- ① ( A )や言葉で表現する楽しさを感じる。
- ② 人の言葉や話などを聞き、自分でも( B )を伝えようとする。
- ③ 絵本や( C )等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて( D )と気持ちを通わせる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	ごっこ遊び	経験したこと	紙芝居	保育士等
2	言葉遊び	思ったこと	物語	身近な人
3	言葉遊び	経験したこと	物語	保育士等
4	ごっこ遊び	思ったこと	物語	保育士等
5	言葉遊び	思ったこと	紙芝居	身近な人

問 15 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」の2「養護に関する基本的事項」の一部である。( A ) ～ ( E ) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

イ 情緒の安定

(ア) ねらい

- ① 一人一人の子どもが、( A ) をもって過ごせるようにする。
- ② 一人一人の子どもが、( B ) を安心して表すことができるようにする。
- ③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を ( C ) が育まれていくようにする。
- ④ 一人一人の子どもが ( D ) 共に過ごし、( E ) が癒されるようにする。

【語群】

ア	くつろいで	イ	主張する意欲	ウ	自分の気持ち	エ	ストレス
オ	心身の疲れ	カ	安定感	キ	健康で安全に	ク	肯定する気持ち
ケ	自信						

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | カ | ウ | ク | ア | オ |
| 2 | カ | ウ | ク | キ | オ |
| 3 | カ | ク | イ | ア | エ |
| 4 | ケ | ウ | ク | キ | オ |
| 5 | ケ | オ | イ | ア | エ |

問 16 次の文は、「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」の 3 「3 歳以上児の保育に関するねらい及び内容」の一部である。( A ) ～ ( E ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

イ 人間関係

(略)

(ウ) 内容の取扱い

(略)

- ① 保育士等との信頼関係に支えられて自分自身の生活を確立していくことが人と関わる基盤となることを考慮し、子どもが自ら周囲に働き掛けることにより多様な ( A ) を体験し、試行錯誤しながら諦めずにやり遂げることの ( B ) や、前向きな見通しをもって自分の力で行うことの充実感を味わうことができるよう、子どもの行動を見守りながら適切な援助を行うようにすること。
- ② ( C ) 集団を形成しながら人と関わる力を育てていくようにすること。その際、集団の生活の中で、子どもが ( D ) し、保育士等や他の子どもに認められる体験をし、自分の ( E ) に気付き、自信をもって行動できるようにすること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	感情	達成感	一人一人を生かした	自己を発揮	よさや特徴
2	関係	満足感	統率の取れた	他者を肯定	気質や特性
3	関係	自己肯定感	競争を楽しむ	自己を発揮	よさや特徴
4	関係	自己肯定感	共に育ち合う	自己を発揮	気質や特性
5	感情	達成感	他者の気持ちに共感できる	他者を肯定	課題

問 17 次の文のうち、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の（3）「指導計画の展開」における指導計画に基づく保育の実施に当たって留意すべき事項として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育士等は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化などに即して保育の過程を記録すること。
- 2 子どもが行う具体的な活動は、生活の中で様々に変化することに留意して、子どもが望ましい方向に向かって自ら活動を展開できるよう必要な援助を行うこと。
- 3 子どもの主体的な活動を促すためには、保育士等が多様な関わりをもつことが重要であることを踏まえ、子どもの情緒の安定や発達に必要な豊かな体験が得られるよう援助すること。
- 4 施設長、保育士など、全職員による適切な役割分担と協力体制を整えること。
- 5 保育士等は、保育の過程の記録よりも、子どものその時の状況と自分のこれまでの経験を踏まえて、指導計画に基づく保育の内容の見直しを行い、改善を図ること。

問 18 次の保育所での【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

4 歳児クラスでは、5 月にトマト、ピーマン、キュウリ、ナス等の野菜の苗を畑に植えて、成長を見守りつつ収穫を楽しみに育てている。

**【設問】**

「保育所保育指針」第 3 章「健康及び安全」の（1）「保育所の特性を生かした食育」に基づいた保育の展開として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 生活や遊びの中で水やりを行い、意欲をもって食に関わる体験をする。
- 2 収穫した野菜を、子どもが保育所の栄養士と一緒に調理するなど、栄養士の専門性を生かした対応を図る。
- 3 食べることを楽しむよりも、何でも残さず食べるために、クラス全員が収穫物を食べられるよう援助する。
- 4 食事を楽しみ合えるように、友達と一緒に収穫物を食べる。
- 5 4 歳児としての食育計画を全体的な計画に基づいて作成しておく。

問 19 次の文は、放課後等デイサービスについての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童福祉法」の障害児通所支援として位置づけられている。
- B 利用対象は学校（幼稚園及び大学を除く）に就学している障害児とされているが、必要が認められれば、小学校に就学する前の5歳児も利用が可能である。
- C 児童相談所は、放課後等デイサービスの利用者一人一人に対し、放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行う。
- D 苦情受付窓口については、子どもや保護者に周知するとともに、第三者委員を設置している場合には、その存在についても、子どもや保護者に周知する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問 20 次の文は、「社会的養護の課題と将来像」（児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会・社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会とりまとめ 平成 23 年 7 月）における社会的養護の基本的方向の一つとして述べられている家庭的養護の推進に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会的養護は、できる限り家庭的な養育環境の中で、特定の大人との継続的で安定した愛着関係の下で、行われる必要がある。
- B 社会的養護においては、原則として、家庭的養護を優先し、施設養護については選択の対象からはずすことが必要である。
- C 社会的養護が必要な子どもを、養育者の住居で生活をともにし、家庭で家族と同様な養育をする里親やファミリーホームを、家庭的養護という。
- D 小規模グループホームやグループホームは、施設養護の中で家庭的な養育環境を整えるものであるが、養育者が交代制である点で、家庭的養護とは異なる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○